

Canvas X Draw 7 for Mac

ビルド 7.0.7023 リリースノート

新機能

- **QRコード**：スマートフォンなどのアプリで解読可能な QR コードを作成してドキュメントに配置することができます。
- **パス計測ツール**：このツールで多角形を描くとその距離を計測し、多角形に設定された速度のパラメータからその距離に必要な時間や徒歩を算出することができます。
- **インク置き換え**：[編集]メニュー>[インク置き換え]を追加しました。

改善事項

- 全般的なドローイング、操作速度の改善がされています。Canvas Draw 6 に比較すると速度は 6 倍近く速くなりました。（この変更に伴い、現時点ではダークモードには対応していません）
- 表オブジェクトのプロパティバーに選択範囲ドロップリストが追加されました。[偶数行/列を選択]、[奇数行/列を選択]などのオプションを選べます。
- 表オブジェクトのプロパティバーに[データを並べ替え...]ボタンが追加されました。A から Z、Z から A、昇順、降順でソートが行えます
- 表オブジェクトを作成した際プロパティバーに[テキストとしてコピー]ボタンが追加されました。これにより、データをスプレッドシートの列と行へコピーできます。
- [編集]メニュー> [同じ位置にペースト] ([command]+[shift]+V)が追加されました。これにより、コピー元オブジェクトが配置されていた位置と同じ位置へペーストできます。

- スマートシェイプツールのプロパティバーに[等辺]オプションが追加されました。[等辺]オプションをオンにすると、三角形、ひし形、五角形、六角形、八角形等の辺は同じ長さで描画ができます。
- 画像ファイルを開くとデフォルトのドキュメント単位はピクセルで表示されるようになりました。
- [パス]メニュー→[多角形に変換]を選択するとあらゆるベクトル及びテキストオブジェクトを多角形に変換します。
- 複数のオブジェクトを同時に選択し境界枠をドラッグすることで縦横比を保った状態で一度にサイズを変更することができるようになりました。
- カメラーツールのプロパティバーに[ページ全体]オプションが追加されました。これを選択すると自動的にページ全体が撮影対象となります。
- ドキュメントレイアウトパレット内でオブジェクトを選択し、マウス右クリックにてコンテキストメニューを表示して、コピー/ペーストなどの操作が可能となりました。
- アノテーションツールを選択するとプロパティバーにラインタイプが表示され、異なるタイプを選択することができます。ラインのプリセットは独自に作成しファイルとして保存しておき、他のユーザーと共有することも可能です。
- テキストのプロパティバーにフォントサイズを（大きく）[A+]、（小さく）[A-] アイコンが追加されました。
- パイパーリンクポインターツールは削除されました。その代わりに、選択ツールで[command]+クリックし既定ウェブブラウザを起動することができるようになりました。
- 複数のドキュメントを開いている場合、[command]+[1]、[command]+[2] など[command] キーと[0]から[9]の数値を組み合わせたキーボードショートカットでドキュメントの切り替えが可能となりました。

- オブジェクトが何も選択されていない状態で表示されるプロパティバーに[トリムビュー]チェックボックスが追加されました。これを選択した場合、ドキュメント作業領域外にあるオブジェクトはページクロップしたかのように一時的に隠すことが可能です。
- オブジェクトを1つだけ選択した場合においても、境界枠で整列ができるようになりました。
- プリセットパレットのポップアップアイコン（右側に表示される三角のアイコン）が追加されました。これをクリックすると、フロートされた状態でパレットを開き続けることが可能です。
- グループ化されたオブジェクト、ベジエ曲線もしくは多辺形が選択されている場合も、ダイナミック効果を適用できるようになりました。

解決した問題

- インデックスカラーの画像を縮小すると残像が残る問題が解決しました。
- 閉じた多角形オブジェクトにシンボルペンストロークを適用すると、最後のポイント（点）に余分なシンボルが表示されてしまう問題が解決しました。
- 最後に使用した時のプロパティバーの[スマート吸着]オン/オフ状態が再起動時に正しく読み込まれない問題が解決しました。
- ドキュメントレイアウトパレットの検索機能は現行ページで最初にマッチしたアイテム以外は検索結果として認識されない問題が解決しました。
- スムース多角形オブジェクトは多角形としてステータスバーに表示されてしまう問題が解決しました。
- ドキュメントレイアウトパレットのパレット上部にある各種アイコン上にマウスを移動させてもツールのヒントが表示されない問題が解決しました。
- プリセットパレットから複数のインクを同時に削除できない問題が解決しました。

- 編集モード時にプリセットパレットのポップアップから[適用する属性をデフォルトに設定]にチェックを入れようとしても、設定オプションがグレーアウトされてしまう問題が解決しました。
- 高解像度イメージの複雑な領域を選択する際、投げ縄ツールやマーキツールを使用すると動作速度が遅くなる問題が解決しました。
- 大文字/小文字と言ったテキストのケースは書式パレットのスタイルに登録されない問題が解決しました。
- プロパティバーでフォントサイズを変更してもリターンキーを押さない限り変更が有効にならない問題が解決しました。
- 複数の表オブジェクトをドキュメント上にコピー/ペーストできない問題が解決しました。
- 現行の設定が矢印になっていると表オブジェクトは矢印で作成されてしまう問題が解決しました。
- 表オブジェクトのセルの余白をゼロ (0)に設定できない問題が解決しました。
- ストロークの太さや色を一度に複数の表オブジェクトに適用できない問題が解決しました。
- スマートシェイプオブジェクトに太目のストロークを適用すると線が重なる部分がキレイに閉じて表示されない問題が解決しました。
- 新しくテキストチャインクを作成しようとする時、属性パレットでインクの種類が正しく切り替わらない問題が解決しました。
- 検索パレットでフォントの属性を指定した上で検索をしようとする時、[置換]、[全て置換]が動作しない問題が解決しました。
- アノテーションツールで作成した矢印の接続線をフローチャートツールで使用しようとしても表示されない問題が解決しました。

- [取り消す]を行ってもリサイズしたオブジェクトと寸法を一度に同時に元に戻せない問題が解決しました。
- [面積/周囲でスケール]を開いたパスのオブジェクトに適用すると正しくスケールされない問題が解決しました。
- 極細ストロークは SVG 形式で正しくエクスポートされない問題が解決しました。
- スマートマウスがオンの場合、表オブジェクトのセルテキストを選択する際に生じていた問題が解決しました。
- ヘッダーやフッターに適用した日付や時刻スタンプを別のものに変更する際に生じていた問題が解決しました。
- レンズオブジェクトにスマートベクトル塗りツールを適用しようとした際に発生していた問題が解決しました。
- [control]キーを押した状態で虫眼鏡ツールをドラッグすると発生していた問題が解決しました。
- 複製スペシャルダイアログボックスを開いた後、ドキュメントスケールを適用しようとするとき生じる問題が解決しました。
- ベクトルオブジェクトのパス編集モードで複数のアンカーポイントを選択し、[編集]メニューから[選択範囲を反転]を適用する際に発生していた問題が解決しました。
- 縦書きで和文テキストを入力すると日本語変換リストが入力したテキストに被ってしまう問題が解決しました。
- 縦書きで和文テキストを入力すると日本語変換リストの内容が横書きテキストで表示されてしまう問題が解決しました。
- 和文テキストを縮尺しようとするとき、縦のスケールがプロパティバーからも書式パレットからも上手くいかない問題が解決しました。

サポートされているファイル形式

読み込み：

AI, BMP, CAL, CGM, CNV, CV5, CVDRAW, CVDTPL, CVI, CVS, CVX, DWG, DXF, EPS, GIF, ICO, IFF, JPG, PCD, PCX, PDF, PNG, PRN, PS, PSD, RTF, TGA, TIF, TPL, TXT, WBMP

書き出し：

BMP, CAL, CGM, CVD, CVDTPL, DWG, DXF, GIF, HTM, ICO, IFF, JPG, PCX, PDF, PNG, PSD, SVG, SVGZ, TIF, WBMP

既知の問題

- このバージョンでは macOS のダークモードは対応していません。
- ハイパーリンクポインタはツールボックスから削除されました。
- [command]+ドラッグでオブジェクトを複製する場合は、オブジェクトを一度選択した後、少しドラッグしはじめた時点で[command]キーを押してください。
- [command]+[shift]+V ショートカットキーは[編集]メニュー>[選択範囲内でペースト]から[同じ位置にペースト]に変更されました。
- 最初に起動する際[テキスト]メニュー>[フォント]またはプロパティバー上のフォントドロップダウンメニューをクリックすると、フォントグリフのプレビューが生成される為若干時間がかかる場合があります。
- 書式パレットでは「標準」「太字」「イタリック」スタイルアイコンは使用できません。
- 以前の Canvas バージョンで (Mac/Win) 書式パレットから作成した文字や段落スタイルは Canvas Draw 6 と互換性がありません。
- Canvas/Canvas X Windows 版で作成したスライドドキュメントの[画面切り替え]には対応していません。切り替えの名称は“不明”という形で表示されます。
- PDF - Adobe® Acrobat® (Advanced)への書き出しは Postscript Type 1、Dfonts、和文フォントを使用して入力したテキストをパスへ変換します。これは[フォントの埋め込み]で[フォントサブセットを埋め込み]を選択しても同様の結果となります。これら PDF ファイルの表示やプリントは問題ありません。

サポートされていない事項

- 自動ハイフンには対応していません。
- ドロップキャップ機能には対応していません。